

1.日時：2013/1/25（金） 15:00～17:00

2.場所：BCAO 日本橋事務所

3.進行：市川座長（レスキューナウ）

4.記録：高木（富士通エフサス）

5.出席者（11名：敬称略・順不同）

市川（レスキューナウ）、高橋（インフォコム）、村田（富士通エフ・アイ・ピー）、野田（アジア航測）、副島（大林組）、若林（イー・アール・エス）、大島（富士通マーケティング）、橋元（清水建設）、前田（富士火災）、内山（富士通エフサス）、高木（富士通エフサス）

6.実施内容

① 「a 47：社会・地域との協調・貢献」若林（イー・アール・エス）

- ・ 「i 51」社会貢献方針の i n となる「被災地域支援マニュアル」、「現地災害対策マニュアル」は i 51 が出る前に使用されるものであることから削除。
- ・ アクションインディケータの i n 側にある「a 22」のインプットである i 21, i 22, i 23, i 31 の h o w の文言（フロー側）を丸付き数字の文言に合わせる。
- ・ 災害情報項目「i 51」の <FROM>, <HOW> がブランクであったため「電話・メール・口頭」の文言を追加。
- ・ フロー図「i 76」の HOW 文言を災害情報項目の HOW 文言「インターネット、イントラネット、メール、FAX、掲示板等」に合わせる。
- ・ 災害情報項目「i 85」の HOW 文言をフロー図「i 85」の HOW 文言「電話、メール、FAX、衛星電話、携帯電話、TV 会議、無線等」に合わせる。

◆ a 22 以降のフロー図と災害情報項目の HOW 文言が、検討時期の違いから微妙にズレており、今後まとめて見直しを行うこととした。

② 「a 45：部品・材料の在庫管理・調達」副島（大林組）

- ・ アクションインディケータ i n 側のアクションが多いのは、現地対策本部内のロジスティック関連アクション a 44, a 45, a 46 を合わせたからであり問題なし。
- ・ 「i 72」部品材料の供給状況（自社・仕入先）の o u t 側に、現地災害対策本部だけでなく災害対策本部があってもいいのではないか。全社を統制する本部にも情報が行くはずである。
- ・ 「i 72」の情報は、現地災害対策本部経由で災害対策本部に連絡されることから「a 40」のように現地災害対策本部の下に災害対策本部を書いたパターンもあるが、現地災害対策本部で止める。

7.今後の予定

次回アクションフロー検討担当

・ a 48：南部（清水建設）

8.次回研究会

日時：平成 25 年 2 月 15 日（金）15:00～17:30

場所：BCAO 日本橋事務所

議題：アクションフロー図検討（a 48）

アクションフロー図(全体)を利用しアクションフロー図(詳細)の作成検討

- ・ 摸造紙をベース、各活動（a）を A 4 用紙として配置、そこで情報（i）をホストイットで流してアクションフロー図(全体)を検証。

9. 次回開催のための準備事項（依頼事項）

◇以下の担当項番の活動（a）をA4用紙として作成して持ち寄る◇

- | | |
|------------|------------|
| a 1～6：市川 | a 25～30：村田 |
| a 7～12：高橋 | a 31～36：若林 |
| a 13～18：大島 | a 37～42：前田 |
| a 19～24：橋元 | a 43～48：副島 |

※ 摸造紙、ポストイットについてはBCAO日本橋事務所の在庫品を使用させて頂く。

10. 野田様への依頼事項

検討資料ファイル(excel)の新旧の混在があったことから11月分資料を参考に見直しをお願い致します。

以上